



津幡町立津幡中学校
 1年学年だより 第11号
 令和5年12月25日(月)
 津幡中学校長 泉 智一
 1年学年主任 山下 愉美子



いよいよ明日から冬休みです。計画的に生活しましょう!!

明日から14日間の冬休みに入ります。今年1年の学習面や生活面を振り返り、新しい年に向けて決意を新たにする良い機会です。お正月は家族といっしょに家庭で過ごす時間も増えます。家族の一員として進んでお手伝いもしましょう。そして、健康・安全に気をつけて過ごしてほしいと思います。冬休みの課題や提出物については、冬休みの計画表を確認しながら計画的に学習を進めていきましょう。1月11日(木)の実力テストに向けてじっくり取り組んでほしいと思います。

冬休みの課題内容(冬休み帳5冊)				提出日
国語	書き初め「ふき実行」(行書)	数学	冬の補充学習	1月11日(木) (○付けや直し済)
	冬の補充学習	理科	冬の補充学習	
社会	補強学習W ※1番~15番、19番~24番	英語	冬トレ	

※実力テストの範囲は、この冬休み帳の範囲です。



人権講話「インターネット・SNSトラブルと保護観察について」

12月8日(金)に保護司の方々をお迎えして、グループラインでの仲間はずれ、恐喝、振り込め詐欺など具体的な事例を挙げた講演をしていただきました。



SNSトラブルでは、私たちがスマホを使っているので身近に感じました。何も考えずに投稿しているけれど、住所を特定されたりするのが怖いので、これからは先のことを考えて危機感をもってスマホを使おうと思いました。(1組・山崎朱桃)

「保護観察」という言葉は聞いたことがあったけれどどんなものか知らなくて、犯罪をしてしまった人が社会更生するために必要なことだとわかりました。SNSは便利だけれど、やっぱり危険なものだと思ったし、幸せに暮らすためにルールを守ろうと思いました。(2組・林こはる)

私はよくインターネットやSNSを利用するので、ネット上のトラブルが詳しく知れてよかったです。SNSの情報は影響力が非常に強いとお話しされたので、その情報に影響されすぎないように自分で判断できるようにし、困ったら親にすぐ相談しようと思いました。(3組・中村葉月)

SNSでいたずらのつもりでも、結果次第では処罰の対象になり、写真を投稿しただけで身元を特定され、自分自身や家族も嫌がらせの被害にあうとわかったので、これからはこういうことに気を付けながらSNSを利用していこうと思いました。(4組・田鍋聖斗)

今までは、闇バイトなんて自分には関係ないし、特に気にしたことはなかったけれど、あるきっかけが個人情報握られる原因になると考えると怖くなりました。ネットを安全に使って、保護観察の方々にお世話にならないように気を付けようと思います。(5組・中島颯奏)

薬物乱用防止教室で学んだこと

12月14日(木)に、薬物乱用防止教室がありました。保健委員と発表者を中心に、テーマに合わせて調べた内容をスライドやクイズを使って分かりやすく発表してくれました。聞き手も、興味をもって学ぶことができたと思います。



薬物は、人を壊してしまうとても怖いものだと思います。自分の命だけでなく、大切な友達も奪ってしまうので、遊びでもやってはいけないことだと思います。今日の話聞いて、親せきや家族の人にもしっかり伝えていきたいです。(1組・前田紗知)

保健委員の薬物の危険性についてのスライドが、とても分かりやすく、ロールプレイングでは先生が薬物を進める役で生徒が断る役でしたが、迫力があって会話の様子がすごく伝わりました。生徒は、薬物を進められてもしっかり断っていたので見習いたいです。(1組・栗原巧成)

一度薬物を乱用しただけでも依存症となり、やめられなくなる可能性があるところが薬物の恐ろしいところだと思います。薬物が心身に及ぼす影響をしっかりと知り、興味本位で始めたりしないことが薬物から自身を守ることにつながると思いました。(2組・高倉若雅)

薬物利用者に関する手記やクイズ、ロールプレイングなどがあり、楽しくかつ真剣に学ぶことができました。薬物は体の臓器を壊す、タバコを吸うと5分ぐらい寿命が縮まる、お酒の一気に飲みは急性アルコール中毒を起こす可能性がある、などの危険について知れました。(2組・金尾正蔵)

急性アルコール中毒で亡くなった男性のお父さんの手紙を聞いて、とても心が苦しくなりました。だから、二十歳になってお酒が飲めるようになっても絶対に飲みすぎないようにしようと思いました。また、薬物は使ったら人との信頼関係を失うと今日改めて思いました。(3組・奥野愛凧)

薬物は、使いすぎると脳に悪影響を与えることや続けると段々体が慣れてきて薬の効果が効かなくなり、以前より多くの薬物を使わないといけなくなるそうです。簡単に薬物中毒になって死亡してしまうことから、僕は将来絶対に薬物を使わないと思いました。(3組・田中琉斗)

発表者のスライドで、危険ドラッグや大麻、タバコ、酒、アルコールの危険性や注意すべき点がわかりました。アルコールなど身近な物でも、一歩間違えれば死の危険性があると知って驚きました。もしそれらを勧められたら、しっかり断る決意が必要だと思います。(4組・池端 駿)

薬物を乱用してしまうと、本当の自分を見失い、心や体が苦しくなるなど、改めて薬物の怖さや使用したときの辛さを知ることができました。タバコが何で未成年に影響があるのか気になっていたけれど、成長や発達が遅れるということがわかってよかったです。(4組・山下優心)

今日の話聞いて、「薬物には絶対手を染めるな」ということが一番心に響きました。特に症状や末期になったものを見ると、「やはり僕はこうなりたくない。だからやらない。」としか言いようがありません。他人に薬物の危険を知らせられる人間の一人になりたいです。(5組・志幸恵瑠)

家族にお酒やタバコを「やめて」といっても難しいので、もう少し飲む量や吸う量を減らして長生きしてほしいなと思いました。これから成人になるけど、お酒やタバコ、薬物には気を付けたいと思うし、改めてこのことに気づかせてくれた発表者に感謝したいと思います。(5組・作中美月)

